

# 「絆でつながる家庭教育支援セミナー」第1回連携講座

平成29年7月26日(水) 会場:六ヶ所村立中央公民館 受講者数7名

平成29年8月18日(金) 会場:県総合社会教育センター 受講者数8名

絆でつながる家庭教育支援セミナーは、通年で全10回開催し、親子が気軽に立ち寄れる子育てサロンの実践を通して、日常的な家庭教育支援活動の在り方や即活用できるプログラムの作成方法について学ぶ地域密着型の家庭教育支援者育成事業です。今年度は、青森市会場と六ヶ所村会場の2ヶ所で講座を開催しています。第1回連携講座では、両会場ともに昨年度青森市会場でサロン運営を行った子育て支援サークル「ハグハグ」の皆さんを講師に招いて、座談会形式で行いました。それぞれの会場での概要をお知らせします。

## 1 「昨年度の取組について」(六ヶ所村会場:7/26(水))

講師 H28 子育て支援サークル「ハグハグ」 代表 山内 美恵子 氏、花田 啓子 氏

山内、花田両氏からは、実際にサロン運営を見ていただきながら、お母さん方への声かけのタイミングや寄り添い方のポイントを生で学ぶことができました。また、昨年実際に実践したペットボトルや新聞紙等の身近なものを使用したおもちゃの作り方やすぐに使える様々なアイデアも学ぶことができました。

### 【支援者として大切なこと】

- ① **共通の話題**でお母さんたちの間に入って、**つなげ役**となる。
- ② グループに入れないでいる参加者がいた場合、支援者がそれぞれの方をよく知った上で、中に入って**きちんと紹介してあげる**。
- ③ 毎回の企画についての考え方としては、**当日参加した方とそのお子さんの月齢や人数で臨機応変**に対応する。
- ④ 支援者がなかなかお母さんに話しかけられないときには、**子どもの名前**を覚えて呼んであげたり、自分の失敗談を話してあげたりすることで親近感が増す。

講師の山内氏(左)、花田氏



六ヶ所村会場の様子



## 2 「昨年度の取組について」(青森市会場:8/18(金))

講師 H28 子育て支援サークル「ハグハグ」 代表 山内 美恵子 氏、花田 啓子 氏、西田 充子 氏

今年度の青森市会場では、初めて支援活動をする方々も多く、これまでのサロン運営で感じたことや困ったことなど、講師の方々に様々な質問をし、予定の時間が過ぎる程、熱心な話し合いとなりました。その中で、予定したプログラムをこなすのではなく、来て下さった方々に合わせたプログラムを準備しておくことが大切であるとおっしゃっていました。

### 【サロン運営上、大切なこと】

- ① 支援者はそれぞれ**得意なことや興味があるもの**を出し合い、調整し、準備はしておくが、来た方に合わせて、臨機応変に対応する。
- ② 支援者としての大きな役割は、人と人をつなげることで、**自己紹介や雑談に重きを置き**、参加者の話を聞き、思いをはき出させることに気を配ってほしい。
- ③ 支援者がストレスを抱えることなく、**みんなでリラックス**したり、ママが夢中になれたりする時間を心がける。

青森市会場の様子



講師による手作りおもちゃ紹介

